

研究推進委員会主催 第2回 研究フォーラムの開催について（ご案内）

テーマ（仮題）「認定こども園の制度化と地域における学校及び諸機関の連携システムの課題」

今期研究推進委員会では「人口減少社会における持続可能な学校経営システムの開発」をテーマに研究を進めています。当委員会では、このテーマについて広く周辺・関連領域から考えていく必要があるとの認識から、諸分野の方々をお招きし、ご発表をいただくフォーラムを、学会大会時の課題研究報告とは別の機会として設けてまいりました。昨年9月には、人口減少にある農村集落における住民の学校や教育に対する意識について、橋詰登氏（農林水産政策研究所・主任研究官）をお招きし、ご発表いただきました。

そしてこのほどの3月のフォーラムでは対象を就学前教育といたしました。すなわち幼稚園、そして保育所であり、これらは幼保連携や認定こども園の創設というかたちでも近年、改革が進み、議論がされています。待機児童問題なども絡み、施設や人材の確保など、進展する少子高齢化のなかで、また財政の限られたなかで諸資源を有効活用していく課題があると思われまふ。このような趣旨にあつて現状を踏まえ、広く議論を展開すべく、お二人の方にご登壇をお願いいたしました。

高木氏からは、認定こども園の法制化や、幼稚園・認定こども園を含む学校と地域・PTA等の連携に関する諸課題に係わつてこられた国・行政の立場からお話いただき、また、中山氏からは、これまでに認定こども園の運営に取り組まれてきたご経験、今日の保育経営の問題など、実際の課題等について現場の立場からお話いただくことをお願いしました。お二人からお話とご示唆をいただくとともに、地域の小・中学校との関係や他の公共・福祉施設との関係などをどのように考えていく必要があるかなど、幅広く、議論していきたいと考えます。

なお、参加ご希望の方は、研究推進委員（加藤崇英・茨城大学 takahide@mx.ibaraki.ac.jp）まで、3月15日頃までにご連絡いただければ幸いです。

日時：2014年3月22日（土） 13:00～17:00

場所：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 3F ラウンジ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

<http://www.cictokyo.jp/access.html> （JR 田町駅徒歩1分。都営地下鉄・三田駅徒歩5分。）

<ご登壇いただく方>

国・行政の立場から・・・高木秀人氏（内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室企画官、前・文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室長、元・厚生労働省雇用均等・児童家庭局少子化対策企画室室長補佐）

保育・教育現場の立場から・・・中山昌樹氏（認定こども園あかみ幼稚園・園長、全国認定こども園協会理事）